

研究課題「非触知微細石灰化症例の診療における Tomography ガイド下の VAB(DBT)の有用性」に関する情報公開

1. 研究の対象

2020年1月14日から2020年11月10の期間のDBT群17例、ST群14例の患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

マンモグラフィを使用し組織を採取するStereoガイド下VAB（ST）は世界的に普及している標準的手技ですが、患者さんに長時間（約20分間所要）の体位保持が要求され、負担を強いる検査となります。今回当院では機器更新に伴い、3Dで診ることができるTomographyを使用したDBT-VAB（使用装置GE社Senographe Pristina）が実施可能となりました。そこでDBTの導入によってさまざまな点で患者さんの負担軽減が図れているか、DBT とST をそれぞれ施行した症例（DBT群 ・ST群）において諸条件で比較し検証することを研究の目的とします。

通常の診療において、DBT群 ・ST群 それぞれの年齢、乳房厚、石灰化の形状-分布、検査時間(ｽｶｯﾄﾞ撮影からﾋﾟｯﾌﾟ後撮影まで)などの諸条件を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、検討させていただきます。

3. 研究に用いる情報

年齢、性別、乳房厚、石灰化の形状-分布、検査時間(ｽｶｯﾄﾞ撮影からﾋﾟｯﾌﾟ後撮影まで)、手術病理診断結果、マンモグラフィ画像、超音波検査画像

4. 外部への試料・情報の提供

調査内容は個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含むものではありません。調査時に新たな番号を付け、その番号を用いて調査票が作成されるため、個人情報外部に漏れることはありません。他施設へのデータの受け渡しはありません。また、研究の結果を公表する際は、患者さんを特定できる情報を含まないように致します。

5. 研究組織

研究責任者医師
院長 水谷三浩

研究代表者：

三河乳がんクリニック 画像診断部 小林 美樹
住所:〒446-0073 安城市篠目町肥田39-6
TEL: 0566-91-1037 FAX:0566-77-5212

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

この調査に参加されたくない（自分のデータを使ってほしくない）場合は、以下の問い合わせにその旨をお伝えください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

三河乳がんクリニック 画像診断部 小林 美樹

連絡先 平日（月～金） 9:15～17:15 TEL: 0566-91-1037